

第17回生駒市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和2年2月25日(火) 午前9時～午前9時39分

2 場 所 生駒市役所 401・402 会議室

3 協議事項

- (1) 生駒市教育大綱の改訂について
- (2) 令和4年度以降の成人式の取扱について

4 市側出席者

市 長 小 紫 雅 史

5 教育委員会側出席者

教育長	中 田 好 昭				
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	寺 田 詩 子		
委 員	神 澤 創	委 員	坪 井 美 佐		
委 員	レイノルズあい	委 員	西 井 久 之		
委 員	伊 藤 智 子	委 員	古 島 尚 弥		

6 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	坂 谷 操	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	学校給食センター所長	植 島 秀 史
こども課長	(教育振興部次長兼務)	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	新 土 和 美	子育て支援総合センター所長	辻 本 多 佳 子
生涯学習課長	梅 谷 信 行	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 二	教育総務課課長補佐	山 本 英 樹
教育指導課課長補佐	前 田 伸 行	こども課課長補佐	松 田 悟
教育総務課(書記)	牧 井 望	教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実

7 傍聴者 4名

午前9時 開会

○開会宣告

○協議事項

(1) 生駒市教育大綱の改訂について

・生駒市教育大綱の改訂について、辻中教育総務課長から説明【資料1】～【資料4】
(質疑)

小紫市長：資料1は、前回の総合教育会議に頂いたご意見をまとめている。資料2については、以前の総合教育会議を踏まえ、青字の箇所を修正している。2ページについては、教育を取り巻く環境の変化は非常に速いので、4年に一度策定される教育大綱とは別で、毎年アクションプランを策定している。その点を強調するために追記した部分である。4ページの基本方針1について、青字追加している部分はそのままで差し支えないか。

《意見なし》

小紫市長：では、基本方針2について、学校教育分野である。枝番1については、今回表現を充実した部分だ。この点については、坪井委員、レイノルズ委員からご意見を頂いているので、併せて修正しているが、表現等はいかがか。

《意見なし》

小紫市長：基本方針2の枝番2については、安全と安心の並びの入替をさせていただいた。続いて、基本方針2の枝番3、基本方針3の枝番1において、メンタルヘルスや人権教育に関連して、神澤委員やレイノルズ委員からのご意見を反映している。神澤委員からのご意見は、情報量が多かったので、抽出して反映しており、レイノルズ委員からの意見については、概ね反映されていると思うが、表現等はいかがか。

神澤委員：上手くまとめていただいたかと思う。このような形で構わない。

小紫市長：では、基本方針2の枝番4については、前回もご議論いただいた稼ぐ力の表現を変えていただいた。私からも意見を出した部分だが、このままで良いと思う。委員の皆様はどうか。

《意見なし》

小紫市長：基本方針2の枝番5は、「分かる」という文言を追加している。それでは、基本方針3の枝番1であるが、前回までは枝番4となっていたが、重要性を考えて枝番1に繰り上げた。内容については、メンタルヘルスリテラシーに関するものを追加し、生涯学習と学校教育のつながりを強調する文言を追加した。基本方針3の枝番1について、表現等いかがか。

《意見なし》

小紫市長：基本方針3の枝番2については、レイノルズ委員からご意見があったように、図書館がまちづくりの拠点であることをより明確化した。また、枝番4については、レイノルズ委員から、高齢者や障がい者についてそれぞれ項目立てするのではなく、まとめて記載するのはどうかというご意見を頂いていた。高齢者や障がい者の方へのスポーツの振興は困難な側面があるが、当市のスポーツ振興の中で障がい者のスポーツにも注力しているし、福祉部門でも高齢者の健康づくりのためのスポーツにも力を入れており、教育大綱においても改めてその意義を強調するため、書き加えた。変更点は以上である。では、全体を通じてのご意見等あるか。

伊藤委員：今の段階なので、次期教育大綱には加えられないと思うが、今後考慮していただきたい視点として発言させていただく。基本方針2の枝番4について、新学習指導要領の中で、対話的というキーワードがあるほか、特別活動の中で自発的・自主的であることが重視されており、また習得については、活用と探究のバランスを取る工夫をするといった、児童生徒の主体性を引き出すために学業の意味や意義について共有する等、様々な言葉を発見した。特別活動における自発性・自主性は、今後社会参画をしていく中で、具体的な社会問題に取り掛かるために必要な力という位置づけかと思う。子ども達の主体性を育てる教育のあり方について、議論を深めていきたいし、今後このような大綱の類のものに書き加えたい。

小紫市長：ご発言いただいた内容は、今回の改訂の中で最大の項目で、深く議論してきた部分だったと思う。次にコミュニティ・スクール、ICT環境整備の順で話し合ってきたかと思う。先ほどご説明したように、教育大綱を施策に反映するために毎年度アクションプランを策定しているので、学校教育、部分的には生涯学習も含めて、単なる習得に留まらない活用・探究の機会について、あるいはその意義や目的について、具体化していきたい。予算を取ってアクションプランに落とし込んでいく以外にも、各校における保幼小連携や、現在準備を進めているGIGAスクール構想の中でも、その点を意識した取組を盛り込んでいきたい。教育大綱はシンプルなものが良いので、簡潔な言葉で記載しており、基本方針2の枝番4の各項目において、伊藤委員からご発言があった内容についても、触れられているのではないかと思う。今後重要な項目なので、具体的な取組については、教育委員会や総合教育会議にて、議論していきたい。

飯島委員：表現について、今までの意見を集約し、適切に修正していただいた。2・3ページに注釈がある。2ページの図に「教育に係る既存の各種計画」に注釈が付き、別表で策定済のものが列挙されており、こちらはこのままで差支えないと思う。ただ、3ページの「いこまびと」については、注釈ではなく、本文の中に「いこまびと」の説明を入れ込んだ方が、大綱としての格調が出ると思う。また、様々な文章を組み込んで修正したために、5ページの基本方針2の枝番4の「将来の「自立」を感じる

ことができる」とあるが、「自立を感じる」は意味が伝わりにくいので、「自立」を確信できる」とするのはどうか。同じく枝番5「子どもたちが授業を「分かる」「楽しい」と感じる」とあるが、「授業を分かる」「授業を楽しい」というのは語感的におかしいので、調整していただきたい。また、基本方針3の枝番1の2項目に、「心の健康について学ぶ機会を提供するとともに」とあるが、「ともに」が何と並列なのか、文章が長くなり、分かりにくい。おそらく「図る」か「進める」のどちらかにかかるとは思うが、明確な表現に修正していただきたい。会議の場で議論するレベルではないと思うので、別途メールでご連絡させていただく。

小紫市長：飯島委員からご指摘のあった表現については、預からせていただきたい。注釈については、本文に入れると間延びした印象になるので、コラムにする等、注釈と違う方法を考えたい。細かい表現は、市長、教育長、事務局にて調製させていただく。また、パブリックコメント案の議会への報告、パブリックコメントの実施方法等、市長に一任いただいてよろしいか。

《意見なし》

小紫市長：教育大綱について、長期にわたり丁寧な議論ができたこと、有り難く思う。現行の教育大綱からどの点が変わったか、現場の先生方や、生涯学習に携わる方、事務局職員が知っておかなくてはならない。関係者が改訂されたこと自体を知らないということが無いように、周知を心がけたい。アクションプランについては、今年度分は既に予算ができてきているので、記載できることは限られているかもしれないが、年度途中であっても、具体的に対応しなくてはならないことがあれば、教育委員会でも検討いただきたい。来年度以降の予算が必要な事項については、常に検討していただき、毎年度のアクションプランに反映できるよう、ご準備いただきたい。新しい教育大綱を、活用・具体化できなくては、策定している意味がないので、よろしく願いたい。では、今後の予定について、事務局より報告を受けたい。

辻中課長：本日ご協議いただいた内容を反映させたくうえで、パブリックコメント案とし、3月の生駒市議会定例会で議会に対して周知し、パブリックコメント実施条例に基づき、3月19日から4月19日までの期間にパブリックコメントを実施する。実施方法は市のホームページ、市役所やコミュニティセンター等の施設において公表し、ご意見を募集する。その後、4月末から5月に第18回総合教育会議を開催し、パブリックコメントの結果を報告し、新教育大綱を策定する。その後、6月の生駒市議会定例会で議会に新教育大綱を報告する。

小紫市長：最終的な完成は6月となるが、よろしく願いたい。

(2) 令和4年度以降の成人式の取扱について

・令和4年度以降の成人式の取扱について、梅谷生涯学習課長から説明【資料5】

(質疑)

小紫市長：18歳時点での成人式は難しいので、提案のとおりにするのが良いと思う。

寺田委員：案の中に漢数字、算用数字が混じっている。表現については検討されているのか。

梅谷課長：他市の状況を見ていると、算用数字もある。当市では「二十歳基金」において、漢数字を使用している。あるいは、カタカナの表現も良いかと思う。

小紫市長：表現については、教育委員会において、再度議論いただければと思う。実行委員会に委ねるという案もある。実行委員会形式が根付いてきたかと思う。実行委員が自主的に考えることが主旨ではあるが、教育委員においても、写真撮影前まで見ていただいている中で、感じるがあれば、実行委員の自主性を損なわない範囲内で、問題提起等していただくのも良いかと思う。二十歳の集いへの移行も含め、生涯学習課を中心に調製をお願いしたい。

また、市内中学校における盗み撮り事案のような、楽観視できない事件も起こっており、ご協力をお願いする場面もあるかと思う。一方、生涯学習も含め、コミュニティ・スクールの進捗等、良い形で進んでいる側面もある。新教育大綱が良い指針となるよう、具体化も含め、お力添えいただければと思う。

○閉会宣告

午前9時39分 閉会